

第8回協議会での指摘事項と対応方針

No.	指摘事項	対応方針
	資料-1 名勝公園マネジメント計画について	
1	・順路を表示するようなものを置くのはどうか。順路としてはAからFへの順路が良いかと思う。	ご意見を踏まえて何ができるか検討していく。
2	・シークエンス景観でルートのように示したので、お勧めコースのようなものはあっても良いと感じる。その中に文化財等の一覧をセットで表示するのも良い。	ご意見を踏まえて何ができるか検討していく。
3	・1ページ目の左下に「シークエンス景観の結节点」と表現されているが、「結节点」という表現のほうが適切である。	承知した
4	・シークエンス景観の結节点をA、B、C、D、E、Fと示しているが、前回協議会で示していた景観のグループもA、B、C、Dという同じアルファベットの名前をつけており、違う記号などにして区別したほうが良い。	今後の資料等への記載には、その点を注意して作成する。
5	<p>・3ページ目の一覧表は、今後のマネジメント計画に使うことになると思うが、今回の議題にある結节点だけでなく、流れる動線、滞留する動線のシークエンスも併せて、お勧めルート（時計回りに回っていくのが標準と思う）の順で動線と結节点が順番に並んでいくような整理をしてはどうか。</p> <p>・その際、「課題」をいきなり示す前に「留意すべき点」は何かを示し、それが問題ありなのかなしなのか、問題があるものは課題というように位置づけをして整理したほうが、今後マネジメント計画で使っていくためには良い。例えば、今回の一覧表で記載されている「課題」の前に、「留意すべき点」として、結节点であればある程度スペースのゆとりがあるか、池の眺望が確保されているか、その先の行き先の方向が分かりやすいかなどの留意点を示して、現状で池が見えないなどの課題があるのであれば、そこは課題であるという示し方をしたほうが、今回限りではなく今後マネジメント計画を策定していくに当たって使いやすくなると感じた。</p>	承知した

6	<p>・1ページ目で保存計画は「済」となっており、これから活用計画の検討に進んでいくということだが、これで保存計画に関する内容が終わりということは無く、検討は継続している話なので、「済」ではない。</p>	承知した
7	<p>・資料の構成を再考したほうが良い。例えばつくる、守る、育てる、学ぶ、つなぐ、使うという切り口でマネジメント計画を立てないと、その場しのぎになってしまう。あくまでも計画なので、きちんと計画論を展開していかないと、その都度場当たりでやっている感じが否めないなので、ご注意いただきたい。</p>	承知した
資料-2 水環境改善対策実施計画について		
1	<p>・水質環境改善対策実施計画は議題1のマネジメント計画と分けて話をしているが、将来的に自浄作用を期待するというのであれば、マネジメント計画の中で水質をどう扱うかは入ってくるはずだと思うが、その理解で良いか。</p> <p>・公園全体のマネジメントなので個々に考えるのではなく、副委員長の指摘の通り当然マネジメントの中に入ってくる。個々も大事だが、それらをつなぐことによって相乗効果が出てくる場合もあるので、水質改善を全体の計画の中で適切に位置づけて、基本理念に即して体系的に洗足池公園をいかに良くするかという趣旨を忘れずに考えていただきたい。</p> <p>・そのため、マネジメント計画の1つとして「守る」という切り口で、水質を守るという具体施策に位置づけられる。そのように体系的に考えていくと、さらに公園が良くなると思う。</p>	承知した
2	<p>・水質改善では、今回かなり大規模に浄化方法を変えるので、それを独立して検討するのは良いが、検討した水質改善対策が何らかの形で実現されたときに、それをどう維持していくかはマネジメントの問題なので、マネジメント計画にも入れ込んでいく必要がある。</p>	承知した

資料-4 景観構成重要木の伐採報告		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採反対などの意見は出ていないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域基盤整備第三課の管轄であるため、直接は聞いていないが、そのようなご意見を受けたという情報は今のところ届いていない。</li> <li>・住民団体から、伐採について説明してほしいというご要望が一件あり、本協議会でこれまで協議してきた内容について説明し、危険性の優先順位をつけて伐採していることを説明したところ納得いただいた。</li> </ul>
資料-5 洗足池公園増設整備について		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増設設備と先ほどの景観木の伐採に関して、両方とも現状変更届を提出してから工事していると思うので、終了したら完了報告を提出いただきたい。</li> </ul>	承知した
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変更箇所について、変更前の予定では「高木が何本、中低木何本」と記載していただいていると思うが、何本と決めつけてしまうと後々変更が生じたときに変更届を出し直さなければいけないため、「約何本」、「何本くらい」といった表現で提出していただくよう引き続きお願いしたい。</li> </ul>	承知した
資料-5 桜山・松山の擁壁改修について		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・②の青で示されている鉄筋補強土工法は、丘陵地の宅地造成地や山あいの道路ののり面などで使用している工法だと思うが、名勝地でこの工法は適切ではないと思う。「景観に合った自然石張りとする」と記載されているが、逆により不自然な感じになるように思うので、工事が令和8年以降ということであれば、再検討いただけないか。</li> <li>・加えて、かなり古い擁壁だと思うので、アンカーを打つ工事によって、逆にクラック（亀裂やひび割れ）が発生する結果になってしまわないか懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松山東側の桜山・松山エリアで擁壁が高くなっている部分に鉄筋補強土工による改修を検討しているが、現在コンクリート構造で直壁の状態であり、擁壁の裏側の際に大きなケヤキの木があること、既存の擁壁に変状は見られないこと、ボーリング試験を行った結果、土についても安定しているという結果が得られたことから、既存の擁壁を生かして補強していく鉄筋補強土工法で検討した。</li> <li>・景観については、自然石張りとし、洗足池の風致に合うような方法、見た目設計していくが、いただいたご意見を踏まえて改めて検討し、令和8年度以降の松山の工事を行っていきたいと考えている。</li> </ul>

2	<p>・現状では変状はないとおっしゃっているが、資料-5(2)の一番上の写真と同じぐらいの古いコンクリート擁壁かと思うので、補強しようとした工事自体が、現況の擁壁を壊してしまう可能性もあるようには感じた。</p>	<p>・ご指摘いただいた件を再度持ち帰って、調査結果も踏まえながら検討し、より景観に合った工事ができないか考えてみる。</p>
3	<p>・風雨で色が多少落ちていくとは思いますが、資料-5(2)の写真は強烈なので、もう少し周りに合ったような石を使ったほうが良い。</p>	<p>・この写真では赤過ぎて周りに合わないイメージになっているので、改めて考えてご報告させていただく。</p>
資料-6 キッチンカー試験導入について		
1	<p>・キッチンカーが出店する詳細な曜日などはまだ検討中か。</p>	<p>・まだキッチンカー事業者を選定していないため、選定したら曜日なども調整し、ホームページなど各所で広報、アピールをしていきたいと思っている。詳細はそちらで確認いただくことになると思う。</p>
全体を通して		
2	<p>・本日、キッチンカー、増設工事、擁壁改修、景観構成重要木の伐採も含めて様々報告事項があったが、全て公園マネジメントの一端である。これらの事項を包含したマネジメント計画を検討しなくては場当たりのみで見えてしまうため、認識を改めていただきたい。</p>	<p>承知した</p>